

～新規開業！BTS ゴールドライン～

こんにちは。鳥取県東南アジアビューロースタッフの柴田です。

2020年12月16日に、バンコクの高架鉄道BTSの新線「ゴールドライン」が開業しました。2018年11月に開業した大型商業施設、アイコンサイアムを繋ぐことから、その開業に長らく注目が集まっていた同路線。今回はこのBTS ゴールドラインを中心に、近年急速に拡大している、バンコクおよび近郊の鉄道網についてお伝えいたします。

【BTSの新線ゴールドライン】

バンコク市内と同市近郊を結ぶ高架鉄道BTSは、市民や観光客の足として1999年に開業しました。開業当初から運行しているシーロム線やスクンビット線は、開業以降何度か延線されてきました。特に近年は活発に路線の拡大がされており、2017年以降毎年新駅が開業し、着実にその対応エリアを広げています。そんな中でここ数年大きな注目を集めていたのが、シーロム線の既存駅であるクルン・トンブリー駅と新駅クロンサン間の3駅（約1.7km）を結ぶBTSの新線、ゴールドラインの開業です。以前まではタクシーや、専用のバス・ボートなど別の交通手段への乗り換えが必須だったのが、このゴールドラインの新駅チャルンナコーン駅の開業により、BTS駅から直結でアイコンサイアムへの移動が可能となり、アクセスが大きく向上しました。



BTS ゴールドラインの全自動無人運転



新車両の先頭の様子

アイコンサイアムには、日本の高島屋が旗艦テナントの1つとして入居しており、2020年8月に伊勢丹、2021年1月には東急百貨店が相次いでタイから撤退する中、この高島屋が、現在タイで唯一の日系デパートとなっています。2018年の開業以降、コロナによる商業施設の営業制限などにより苦戦が強いられる中、このゴールドラインの開業が追い風となることが期待されています。

上記の他にもゴールドラインが注目される理由として、国内初の全自動無人運転車両（APM）が採用されたことがあります。カナダのボンバルディア製の「イノービア APM300」という車両で、無人運転が採用されているため、従来の車両の先頭にある操縦室が除かれ窓になり、景色が望めるようになっているため、子供連れの家族など、車両が進む様子を画像やビデオ撮影する姿も多く見られました。また、車両のデザインも、従来のBTS車両に用いられているタイの国旗をベースとした赤・青・白のデザインから路線名でもある金と、白を基調としたものへと一新されています。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2021年3月

【拡大するバンコク近郊の鉄道網】

上記の通り、ゴールドラインの開業がこの数年間の耳目を集めていましたが、タイの地下鉄 MRT も着実に路線網を拡大しています。2019年に新しく開業した MRT の新駅は、駅構内のおしゃれなデザインから新たなランドマーク、フォトスポットになっています。



ワット・ポー（涅槃仏寺院）

ランドマークとしての話題性だけでなく、この路線の拡大に伴い、交通便も確実に向上しており、世界各国からタイを訪れる観光客の方々にも大きな恩恵をもたらしています。特に、2019年9月に開業した、MRT サナムチャイ駅は、バンコクで最も有名な観光地の1つであるワット・ポー（涅槃仏寺院）から徒歩5分の距離に位置しており、そこから王宮、ワット・プラケオ（エメラルド寺院）やワット・アルン（暁の寺）へも徒歩で移動が可能となりました。このワット・ポー、ワット・アルン、ワット・プラケオは三大寺院と呼ばれ、バンコクの観光地として特に人気が高く、今まではツアーへ参加するか、現地でタクシーを使って移動するしか方法がありませんでした。しかし、MRTが開通したことにより、日本人の方に人気の滞在エリアである、BTS アソーク駅周辺やシーロムエリアから電車一本で近くまで行くことが可能となり、観光時の利便性が格段にアップしました。その他、ヤワラートというタイの中華街にもサナムチャイ駅と同じく2019年9月にMRTワット・マンコン駅が開業したため、気軽に訪れることが可能となりました。ツアーへの参加や、タクシーを利用する必要がなくなったため、バンコク市内観光のハードルがぐっと下がったように感じます。

【最後に】

上述の新線、新駅の開業の他にも、タイの新たなセントラルステーションとなる「バンスー中央駅」の建設が進んでおり、今年2021年の開業が予想されています。このASEANで最大となるターミナル駅を中心に、タイ政府は公共交通機関に基礎を置いた都市づくりを計画しています。上記でご紹介した、BTS ゴールドラインの開業やMRTの新駅開業は、この大きな計画の一部に過ぎませんが、確かな生活の便の向上を感じています。

コロナウイルスの流行により、国間の往来再開の見通しが立たない現状ですが、晴れてタイへの観光が可能になった頃には、その交通網の発達ぶりに驚かれるかもしれません。そんな日が早く来る日を心から願っております。



ワット・アルン（暁の寺）

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2021年3月

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau

担当：辻 三朗 Saburo Tsuji

Address: 1 VASU 1 Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66-(0)-2-260-1057

Mobile : +66-(0)-86-358-7298

Mail : tottori@aapth.com

【鳥取県東南アジアビューローの運営法人（鳥取県より業務委託）】

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。

タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2021年3月

ワンページタイ経済

項目	単位	2018	2019	2020	2021
GDP 成長率	前年比ベ (%)	4.2	2.4	-6.8 (1~ 9月)	-6.2 (20年)
人口*	千人	67,869	68,021	68,143 (11月)	68,152 (20年)
労働者の数*	千人	38,353	38,207	39,451	39,451 (20年)
失業率**	%	1.06	0.99	1.62	1.62 (20年)
最低賃金*	バンコク	325	325	331	331
	チョンブリー	330	330	336	336
	アユタヤー	320	320	325	325
	ラヨーン	330	330	335	335
賃金：全国製造業の平均	パーツ	12,831	13,131	13,562	13,562 (20年)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.06	0.71	-0.84	-0.34 (1月)
中央銀行政策金利*	%	1.75	1.25	0.50	0.50 (2月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.31	0.25 (2月)
ローン金利(MLR) **	%	6.32	6.29	5.60	5.42 (2月)
SET 指数*	1975年：100	1,563.8	1,579.84	1,449.35	1,496.78 (2月)
パーツ/100円**	パーツ	29.26	28.48	29.33	28.72 (2月)
パーツ/米ドル**	パーツ	32.31	31.05	31.29	29.99 (2月)
円/米ドル**	円	110.4	109	106.8	104.6 (2月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,041,311	1,019,602	779,857	65,581 (1月)
B0I 認可プロジェクト	件数	1,469	1,500	1,174 (1 ~9月)	1,501 (20年)
B0I 認可プロジェクト金額	10億パーツ	549.48	447.36	274.64 (1 ~9月)	361.41 (20年)

*期末、**平均